

## 第3回弘前市総合計画審議会 委員意見まとめ

〔議案への委員意見〕

議案 弘前市総合計画一次評価への意見に対する回答及び二次評価案について

審議結果【了承する 18名 了承しない 0名】

No.	委員意見	委員
1	<p>&lt;評価内容全体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価を行い記載する際には「評価した根拠となる客観的事実」を可能な限り提示できるようにして欲しい。</li> <li>・施策によっては業務委託しているものもあるかと思うが、委託先に対応を丸投げするのではなく、行政側も委託元として対応すべき所は対応する等、責任の所在の線引きを明確にする事を忘れないで欲しい。</li> </ul>	外崎委員
2	<p>&lt;リーディングプロジェクト（1）ひとの健康&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・No.10の事務局回答に「栄養士が各校を訪問し又はオンラインにより、各学年に沿ったテーマで食育授業を実施しております」とあるが、『栄養教諭・栄養士』ではないのか。また、No.4の回答に「養護教諭等と意見交換した上で」とあるが、ここにも、『養護教諭・栄養教諭等』とあるべきである。</li> <li>⇒いただいたご意見をふまえ、記載を修正いたします。（事務局回答）</li> <li>・子どもの健康・食育を充実させるのであれば予算を確保し、全小・中学校への栄養教諭の配置を目指してほしい。このことからきめ細やかな指導が行え、子どもだけでなく将来にわたって健康で活躍できる市民を育てていくことになるのではないだろうか。子どもたちの肥満や健康についての実態把握は早急に必要である。その際に得たデータは速やかにオープンにしていいただければ、大学・研究機関で分析の上、有意に活かしていけるのではないかと考える。</li> </ul>	今村委員
3	<p>&lt;④健康・医療 1-1) 望ましい生活習慣の定着&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の審議会で、子どもの肥満改善の件については、長年、改善が見られない課題であり、委員からも多くの意見が出ており、こうした面からも、取組に対して厳しい目が向けられている。ベジチェックはあくまで測定であって、肥満児世帯に対する直接的なアプローチがなければ、今後も何も変わらないと思う。優先すべき課題への取り組み方やその方法について検討すべきであり、調査やその原因分析が不明であるように思う。</li> </ul>	藤田委員
4	<p>&lt;⑩市民協働 2-2) 広報の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビのデータ放送を活用したdボタン広報の活用も検討してはどうか。</li> </ul>	鈴木委員

二次評価案については、了承いただいた内容のとおりといたします。また、いただいたご意見は担当課にお伝えし、参考とさせていただきます。

市では、これまでご審議いただいた総合計画審議会による二次（外部）評価等を参考として、総合計画後期基本計画の改訂を行います。令和7年1月17日（金）14:30-16:30に予定している第4回総合計画審議会において、後期基本計画改訂案をご審議いただきます。

以上